

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております。

+++ CONTENTS +++

- 【1】青銀会理事リレーエッセイ : 理事 森 勇介
- 【2】学生会による大学発ベンチャー訪問記
- 【3】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ
- 【4】～ 交流会NO1 まもなく申込を〆切 ! ～
- 【5】編集者よりお知らせ
- 【6】編集後記

【1】青銀会リレーエッセイ 第9回 寄稿: 理事 森 勇介

はじめまして。新しく青い銀杏の会の理事を拝命いたしました、
大阪大学工学研究科電気電子情報工学専攻の森勇介です。
簡単に自己紹介させていただきます。

1993年に運良く非線形光学結晶CLBOを発見いたしましたが、このCLBO結晶は
波長変換により最も紫外レーザー光を発生できるという特性を持っており、
現在では半導体製造プロセスで用いられようとしています。

この結晶の実用化に至る過程で産学連携のポイントや特許の重要性について
学びました。また当時、産学連携やベンチャー起業化を推進する掛け声が
大きくなっておりましたがなかなか進まない状況が続いておりました。

私は運良く産学連携に成功した大学の研究者として、色々なところで講演する
ように依頼されました。講演では、自分の成功例を話しても単なる自慢話か
運の良いシンデレラストーリーを話すだけになってしまいますので、
なぜ日本では産学連携やベンチャー起業化が活性化しないのかということ
をポイントに、どうすれば良いのかというお話ができればと考えていました。

そのような時に偶然飛行機の中で心理学者に出会い、お話をしたところ、
日本の問題の一つに日本人特有のメンタリティーのことがあるように思えて
きたのです。そのような時にまたタイミング良く、阪大工学研究科では
フロンティア研究機構プロジェクトが発足し、従来の研究テーマとは
異質のテーマの募集があったので、
「心理学的アプローチによるベンチャー企業創成」プロジェクトという
おおよそ工学系らしくないテーマを申請し、採択されました。

このプロジェクトでは、心理カウンセリングによって「失敗してはいけない」
というトラウマを除去して、「難しいかもしれないがやってみよう」という
気持ちが持てるようできるかどうかを検証しました。実際に自分達も受けた
ところ非常に効果があり、プロ野球選手も受けています。
野球選手の例では、一度打たれると萎縮していたのが、気にならなくなって
良い球を投げ続けられるとの効果があったそうです。

我々もこの心理カウンセリングを受けながら新しい研究を進め、バイオには
全く疎かったのですが、高校の後輩とかと一緒に新しいタンパク質結晶化技術
開発プロジェクトを立ち上げ、2005年には(株)創晶を設立するに至りました。

最近では、単に積極的になっても駄目で方向性が大事だと思い、
ある和尚様のところでお話を聞いたりしています。一番大切なことは、
「言っていること」、「思っていること」、「行っていること」の3つが
高いレベルで一致することだそうです。これを「三密加持すれば即疾に顕わる」
と言い、この状態を保っていると自分の能力を最大限引き出せるようになる
そうですが、実行するのは難しいですね。これは個人だけでなく企業にも

当てはまっています。

企業の「言っていること」、「思っていること」、「行っていること」の3つ
が高いレベルで一致することが企業の発展・継続には重要ではないでしょうか。
(株)創晶もそうありたいと思っています。

【2】VB訪問記 produced by 学生会Az

♪♪♪

○ベンチャー訪問記 vol.7

バイオ・サイト・キャピタル株式会社

～バイオベンチャーの支援から日本経済を活性化させる～

バイオ・サイト・キャピタル株式会社はバイオベンチャーの育成・支援
のためのインフラとしての役割を果たすべく2002年12月に設立された
ベンチャーキャピタルである。
今回は学生会より原田が代表取締役社長の谷正之氏に話を伺った。

◇続きは下記URLから！

http://www.osaka-u.com/gakusei-az/venture_diary/071022.html

♪♪♪

【3】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

▼△▼△

「イノベーション実用化助成事業(平成20年度)」募集のご案内

■公募期間:2007年10月中旬～12月中旬

■詳細:

http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/190925_4/190925_4.html

■問い合わせ:

研究開発推進部 イノベーション実用化推進グループ

(実用化担当) 小林 種田 千田

TEL:044-520-5173

E-Mail:innovation20-1@nedo.go.jp

(大学発担当) 平山、四十物(あいもの)、池田、尾前(おまえ)

TEL:044-520-5175

E-Mail:innovation-MF@nedo.go.jp

▼△▼△

「委託開発(独創的シーズ展開事業)の平成19年度第2回課題募集」のご案内

開発実施企業が新技術の所有者と連名で申請。新技術の所有者に大学、
独法等研究機関又は前記機関に属する個人が含まれていること

■公募期間:2007年9月3日(月)～11月6日(火)

■詳細:詳細につきましては以下HPをご覧ください。

<http://www.jst.go.jp/itaku/oubo.html>

■問い合わせ:

独立行政法人科学技術振興機構

産学連携事業本部 開発部 開発計画課

TEL 03-5214-8994 FAX 03-5214-8999

MAIL project@jst.go.jp

▼△▼△

「平成19年度 研究開発技術シーズ育成調査(F/S調査)」に係る委託先の

公募について

http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/191015_2/191015_2.html

■事業名称:平成19年度研究開発技術シーズ育成調査(F/S調査)

■公募期間:平成19年10月15日～11月9日 18:00必着

■掲載URL:

http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/191015_2/191015_2.html

■調査概要

研究開発技術シーズを有する企業等に対して、当該シーズに係る特許等の周辺技術動向、類似技術開発要素との比較、販売ルート、具体的なプロジェクト推進体制の在り方、基本原理の確認、基本データの取得等の調査をNEDO技術開発機構が委託して実施する。

・委託期間 : 3ヶ月程度で年度内に終了すること

・調査費 : 1件につき500万円以内

■問合せ先:研究開発推進部技術コーディネートグループ基盤促進チーム

TEL 044-520-5172 FAX 044-520-5178

▼△▼△

「池銀 コンソーシアム研究開発助成金」募集のお知らせ

<http://www.ikedabank.co.jp/news07/news1001.html>

池田銀行では、大学・公設研究機関等との研究開発を応援する、＜池銀＞“コンソーシアム研究開発”助成金の公募を開始いたします。

■事業名称:平成19年度 ＜池銀＞“コンソーシアム研究開発”助成金

■助成金額:1プランあたり最高300万円

■応募期間:平成19年10月10日(水)～平成19年12月25日(火)

■詳細URL :<http://www.ikedabank.co.jp/news07/news1001.html>

■問合せ先:(事務局)池田銀行CS本部内“地域起こし”事務局

大阪市北区茶屋町18-14 TEL 06-6375-3793

▼△▼△

「地域発技術シーズ発表会(ナノ・材料／環境・エネルギー分野)」について

■会 期:2007年10月29日(水)13:00～16:10

■会 場:科学技術振興機構 JSTホール(東京・市ヶ谷)

■参 加 料:無料(募集人数130名)

※定員になり次第締切らせて頂きます。

■詳 細: <http://www.chiiki-innov.jp/seeds/cate2-o.html>

■問い合わせ:

科学技術振興機構 地域第一課

tel:03-5214-8419

▼△▼△

「海外研究者招へい事業(国際研究協力ジャパントラスト事業)」

平成20年度海外招へい研究者受入機関の募集について

ー日本国内の民間企業による海外招へい研究者の受け入れを支援ー

日本国内において民間が実施する鉱工業基盤技術の研究を支援すること、また、当該分野の国際研究協力を積極的に推進し、世界の科学技術の進歩及び経済の発展に寄与することを目的として、鉱工業基盤技術に関する試験研究に携わる海外の研究者を我が国に招へいします。

具体的には、海外招へい研究者の渡航費、支度料、滞在費(15000円/日)、国内出張費(合計10万円まで)等を支給します。

(なお、本事業は研究費用を支給するものではありません。)

■公募期間 平成19年9月10日(月)～平成19年11月9日(金)

■問い合わせ先 研究開発推進部 技術コーディネートグループ
「海外研究者招へい事業」事務局
井原、吉木(よしき)、高田
TEL:044-520-5172 FAX:044-520-5178

■公募情報掲載URL

http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/190910_1/190910_1.html

▼△▼△

「彩都バイオサイエンスセミナーのご案内」について

■会 期:・10月24日(水)

アンジェスMG株式会社 玄番岳 氏

・11月5日(月)

中国清華大学 教授 曹竹安 氏

・11月22日(木)

国立感染症研究所 倉根一郎 氏

・12月6日(木)

横浜国立大学大学院国際総合科学研究科 古久保哲朗 氏

■会 場:彩都バイオヒルズセンター 2階会議室

大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目7番18号

<http://www.bs-capital.co.jp/biohills/bh4.html>

■参 加 料:無料

■問い合わせ:

バイオ・サイト・キャピタル株式会社 山戸

Tel 072-640-1060

E-mail tyamato@bs-capital.co.jp

▼△▼△

「第3回 中小企業産学官連携推進フォーラム」

経営の数字(実績)がでている」、中小企業の産学官連携50事例を発表します。中小機構では、本年8月に「経営の数字(実績)がでている」、中小企業の産学官連携事例を募集し、その中でもエクセレントな事例50件を、第3回中小企業産学官連携推進フォーラムで発表していただくこととなりました。

■会 期:2007年10月31日(水)～11月2日(金) 13:00～17:00

■会 場:東京ビックサイト 〒135-0063東京都江東区有明3-21-1

HP:<http://www.bigsight.jp/>

中小企業総合展内 メインステージ(10/31)

606会議室(11/1,2)

■詳 細:<http://www.chusho-sangakukan.net/071031/>

■申 込:<http://www.chusho-sangakukan.net/071031/uketsuke.html>

■問い合わせ:

フォーラム内容:独立行政法人中小企業基盤整備機構新事業支援部

産学官連携推進課 担当:船田、古内、本村

TEL 03-5470-1534 FAX 03-5470-1188

参加申込み:財団法人日本システム開発研究所 担当:京極

TEL 03-5379-5923 FAX 03-5379-5909

▼△▼△

「中小企業サポートフェア」の開催

財団法人大阪産業振興機構は大阪府との共催で、11月1日(木)10:00～17:00、マイドームおおさか(大阪市中央区本町橋2-5)にて

「中小企業サポートフェア」を開催します。

「マイドームおおさか」が開館20周年を迎えたことからこれを記念し、中小企業支援機関が一堂に会して、あらゆる支援メニューを取り揃えて中小企業の皆様の多様な支援ニーズにお応えします。

■会 期:2007年11月1日(木) 10:00～17:00

■会 場:マイドームおおさか 1F Aホール ほか

■詳 細:<http://www.mydome.jp/>

■問い合わせ:

▼△▼△

「ベンチャー・エキスポ2007」について

- 会 期:2007年11月14日(水)～11月15日(木) 10:00～17:00
- 会 場:大阪国際会議場
- 入 場:無料
- 詳 細: <http://www.nikkei-events.jp/ventya/>

▼△▼△

【4】～ 交流会NO1 まもなく申込を〆切 ! ～

★★★

青い銀杏の会 第一回交流会は、

- ◆11月13日(火) 18:30～20:30
- ◆大阪大学・中之島センター 9階 会議室
- ◆近畿バイオインダストリー振興会議との共催で、三士業(弁護士・公認会計士・弁理士)の皆さんが多数参加され、起業と起業後の様々な課題への取り組みについて、プレゼン・質疑応答されます。
- ◆参加費3000円

本日現在、23名の参加申し込みを頂いておりまして、間もなく申込を締め切らせていただきます。

ぜひ参加、とお考えの方はお急ぎください。

お申込みは青銀会のホームページ、<http://www.osaka-u.com/> からどうぞ。

.....

第六回 大会・懇親会は12月10日(月) 大阪大学中之島センターです！

.....

【5】編集部よりおしらせ

★★★

◎青い銀杏の会メールマガジン編集部では、会員企業様からのお知らせをお待ちしております。
また、特別賛助会員様、賛助会員様よりメッセージ、勉強会お知らせ等をお待ちしております。
会員同士の活発な情報交換のために、宜しくお願いいたします。

メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

★★★

.....

編集後記

第9回青銀会メールマガジン最後までお読み頂きありがとうございました。
先日学会で金沢に行きました。金沢は魚が安くおいしいので、二日間お寿司を食べつづけました。なかなか幸せだったのですが、やはり少し寒かったため大阪に帰ってきてすぐに風邪でダウンしてしまいました。
大阪もすっかり寒くなりましたが、皆様体調を崩されることなくお過ごしください。

(文責 川上)

-
- ☐ 発行責任者: 青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>
 - 編集: 青い銀杏の会 学生部会Az <http://www.osaka-u.com/gakusei-az/>
 - ☐ メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com
 - このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。
 - ☐ Copyright (c) 2007 青い銀杏の会. All rights reserved.
-